

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月12日(金)

事務事業		ごみ減量・資源リサイクル事業		担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	40221	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画				
	小項目	2	環境衛生の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		ごみの減量化とリサイクル活動の推進を行う								
目的 ※何のために		資源物の再利用の促進、廃棄物の減量化を図る								
対象 ※誰・何を対象に		日常生活から排出される資源ごみを集団回収する登録団体								
手段 ※どのように		奨励金の交付								
成果 ※何を求めるか		自主的な資源回収活動の定着促進とこれに伴う家庭から排出されるごみの縮減								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☒ NPO等 ☐ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	2	清掃費	1	清掃総務費	ごみ減量・資源リサイクル事業	4,367,014
本事業の 主な業務		・リサイクル活動推進奨励金交付							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	9,104,000	9,204,000	9,198,000	9,198,000	9,361,000	9,192,000
	決算額	5,490,069	5,213,788	4,996,822	4,367,014	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	5,490,069	5,213,788	4,996,822	4,367,014	9,361,000
人件費	従事職員数（人）	0.50	0.50	0.50	1.05	1.25	
	人件費相当試算※	3,934,779	4,005,083	4,111,121	8,900,949	11,010,611	
総事業費試算		9,424,848	9,218,871	9,107,943	13,267,963	20,371,611	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	リサイクル奨励金交付申請数	目標値	件	390.00	395.00	400.00	405.00	410.00	415.00	
		実績値		297.00	295.00	303.00	291.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度を基に毎年5件増える目標とした。 / 決算における交付申請数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	リサイクル奨励金交付額	目標値	千円	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	
		実績値		5,490.07	5,213.79	4,996.82	4,367.01			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成30年度予算における見込金額を目標とした。 / 決算における奨励金の交付額						
	実績値の算出式									
成果指標 2	廃棄物のリサイクル率	目標値	%	17.30	17.40	17.50	17.60			
		実績値		14.86	14.18	13.86	13.24			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			一般廃棄物処理基本計画に伸率を算出し有害・有価物、集団回収合計に乘じ目標とした。 / リサイクル率＝可燃以外／可燃						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	ライフスタイルの変化に伴う登録団体の活動の縮小から、交付申請数、奨励金交付額及びリサイクル率は全て前年度に比較して減となった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	登録団体の活動の縮小に伴い、回収量が減少している。
			評価者 業務係長 島田 裕一郎

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	C	リサイクル活動推進奨励金の手続きにおいて、オンライン申請フォームを導入し利便性が向上しているが、令和7年度のオンライン申請率は88.7%となっており、令和6年度の91.1%と比較して申請率が下がっていることから更なる周知啓発の必要がある。
			評価者 業務係長 島田 裕一郎

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和6年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	リサイクル活動推進奨励金の成果向上のため、奨励金額等の見直しを含め、運用の改善について検討する。さらに、リサイクル活動活性化のため、広報やSNS等を活用した周知啓発を実施する。
達成状況及び その効果	リサイクル活動推進奨励金の成果向上のため、新たに加算金制度の導入を考案し、要綱改正を実施した。また、市の広報において集団回収の周知啓発を行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ごみ減量・資源リサイクル事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	40221
☐ ① 拡充、重点化（コスト投入） ☒ ② 現状のまま継続 ☐ ③ 見直して継続 ☐ ④ 目的達成による終了 ☐ ⑤ 廃止を検討		評価の内容説明 市民のリサイクル活動を推進し、廃棄物の再資源化、更にはごみの減量化へと繋げていくため必要な事業である。新たに導入した加算金制度については、活動団体の申請上の負担を増やさない制度設計となっており、リサイクル活動の活性化と集団回収量の増加に期待したい。					
☐ 委託化等の検討 ☐ 成果向上のための改善 ☐ 効率化のための改善 ☐ 事業規模の縮小 ☐ 他の事務事業と統合		評価者 課長 清水 昌彦					
上記を実施するための具体的な取組内容は？							

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和8年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	登録団体に対し、リサイクル活動推進奨励金の加算金制度の導入について周知啓発を行っていく。
令和9年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和8年度のリサイクル活動推進奨励金の実績を基に加算金制度の効果を検証し、必要に応じて広報やSNS等により更なる周知啓発を行っていく。

8. 評価指標グラフ

